

# 令和3年度 業務計画書

[こども劇場課]

## 1. 事業方針

### 『未来ある子どもたちの夢をはぐくむ劇場づくり』

子どものための専門劇場「やまびこ座」「こぐま座」は、子ども文化の鑑賞、発信、創造拠点として、子どもたちをはじめ、市民の方々の可能性を育む場所「地域の文化拠点」として、地域に愛され人形劇や児童劇など、様々な事業を行っている。特に令和3年度は、こぐま座が45周年を迎える節目の年でもあるため、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、子どもたちが文化芸術にふれる機会を継続的に確保するため、両劇場、中島児童会館、そして劇団、アーティスト等と協働しながら持続可能な劇場づくりを目指す。

#### (1) 子どもたちへ芸術の鑑賞及び体験機会の拡充

新型コロナウイルス感染症の影響により、子どもたちの日常生活において観劇や文化芸術に接する体験の機会が乏しくなっている現状から、感染防止に十分留意したうえでその機会の拡充を図ることで、元気と心の豊かさを取り戻し、明るい未来を描くことができる支援を行う。

#### (2) 子ども文化の新たな可能性

コロナ禍により模索してきた野外劇場を定番化し、雪の舞台での野外人形劇公演や、北海道のアイヌ民話を題材としたサイト・スペシフィック・パフォーマンス（移動体験型人形劇）を、やまびこ座・こぐま座がプロデュースして制作、札幌スタイルの文化芸術のスタンダード化を目指す。その制作にあたっては、育成する劇団や専門アーティスト、関係機関と連携した取り組みによって、先駆的な作品を創造し、地域の文化芸術の普及に繋げる。また、観光や地域の振興を視野に入れた新しい価値の創造につなげる。

#### (3) 豊かな子ども文化の街・さっぽろをデザインする

やまびこ座、こぐま座の年間を通した活発な公演事業を目指すほか、このコロナ禍で見えてきた課題を克服するため、あらゆる劇場空間を演出していく試みを積極的に展開する。将来における劇場の在り方を模索すると同時に、市民が身近に文化に触れることができる豊かな街づくりをデザインする。

## 2. 重点目標

子どものための専門劇場として、子どもと地域のための「子ども文化」を守り、はぐくみ、次世代に向かって新たな挑戦を続ける「地域の文化拠点」としての使命を果たす。

#### (1) 子ども文化の拠点

全国的に見ても数少ない子どもの専門劇場として、文化芸術の力を実感する事業を展開し、地域の文化活動をリードしていく。また、良質な舞台芸術の創造発信、継続的な文化体験機会の創出を図り、子ども文化の必要性を社会に伝える。

#### (2) 人づくりが文化を育てる

文化芸術を継承する人材の養成を劇場運営の根幹に据え、子どものための人形劇や児童劇、伝統芸能等の担い手である市民劇団を育成する。その市民劇団により、劇場は単に鑑賞の場としてだけでなく創造の場としての機能が加わり、様々な人が交わる地域コミュニティの発展を支える場を形成する。

### 3. 現環境下における事業実施方法等の対応策

- ・『札幌市こどもの劇場、札幌市こども人形劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン』を基本として、万全の感染症対策を励行し、情勢等に合わせて適宜改定を行っていく。
- ・コロナ禍において実績を積んできた屋外での公演等も積極的に展開し、利用者のニーズに応えるとともに、施設のPRに努める。
- ・子どものための専門劇場という特性を強みに、人形劇や児童劇、伝統芸能の公演や講師等、コロナ禍だからこそ子どもたちに必要な文化体験機会を外部に発信し、次の事業展開に繋げていく。
- ・リモートにて実施が可能な講習会については、集合型ではなくオンラインの活用も視野に入れる。
- ・利用者の利便性を考え、観劇等の申込をインターネットによるウェブ予約、スタンプラリーカードにプレミアを付ける等、コロナ禍による観劇者の減少を脱する試みを行う。

### 4. 数値目標

#### (1) 利用者総数

やまびこ座 年間利用者数 55,000 人

こぐま座 年間利用者数 15,000 人

(令和元年度 : やまびこ座 44,466 人、こぐま座 31,517 人)

(令和2年度見込 : やまびこ座 21,000 人、こぐま座 10,200 人)

#### (2) プログラム参加者数

24,000 人

(令和元年度 : 31,007 人)

(令和2年度見込 : 12,500 人)

#### (3) 利用者アンケート総合満足度

85%

(令和元年度 : 90%)

(令和2年度見込 : 99%)

#### (4) 年間上演日数及び公演数

やまびこ座 上演日数 120 日、公演数 200 回

こぐま座 上演日数 120 日、公演数 200 回

(令和元年度 : やまびこ座 117 日 175 回、こぐま座 120 日、192 回)

(令和2年度見込 : やまびこ座 108 日 152 回、こぐま座 76 日、101 回)

#### (5) 新規人形劇団の誕生及び育成

3 団体

(令和元年度 : 3 団体)

(令和2年度見込 : 5 団体)

#### (6) 資料室MA・S・O・B・O 年間利用者数

10,000 人

(令和元年度 : 11,870 人)

(令和2年度見込 : 3,500 人)

#### ※ 施設休館等

##### ■ 令和元年度

やまびこ座 2/28～3/31 (コロナ感染拡大防止)

こぐま座 2/28～3/31 (コロナ感染拡大防止)

##### ■ 令和2年度

やまびこ座 4/1～5/31 (コロナ感染拡大防止)

\*ホールでの公演再開 7/1～

3/5～18 (床改修 部分休館)

こぐま座 4/1～5/31 (コロナ感染拡大防止)

\*ホールでの公演再開 8/1～

11/16～12/27 (舞台改修工事)

5. 事業実施計画書（地域活動等事業）

（単位：千円）

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	被災地への継続文化 支援活動事業 【共通】 (継続)	<p>子ども若者事業部連携事業として被災地への支援を継続的に行っている。やまびこ座・こぐま座で活動をする人形劇やパフォーマーの協力を得て、これまで継続して活動を行ってきた福島県への支援のほか、2018年に起こった北海道胆振東部地震で被害が大きかった厚真町など地元の協力団体と連携をした事業を展開する。やまびこ座・こぐま座東日本大震災復興支援プロジェクトとの共催事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① GWチャリティー公演</li> <li>② 被災地支援人形劇公演</li> <li>③ 伝統人形芝居ワークショップ</li> <li>④ 地域交流イベント</li> <li>⑤ 募金箱設置 等</li> </ul> <p>[対象・定員]福島県、厚真町/子ども～大人まで ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)</p>	<p>【令和2年度実績予測】</p> <p>[時期]9～3月</p> <p>[回数]年3回</p> <p>※9月、12月はリモートでWSのみ実施。</p>	<p>受取補助金 (500)</p>	<p>旅費交通費 (565)</p> <p>諸謝金 (170)</p> <p>※他子ども事業課経費等)</p>
			<p>【令和3年度】</p> <p>[時期・回数]</p> <p>◎5月</p> <p>◎◎◎ 9～3月・年3回</p> <p>◎通年</p>	<p>受取補助金 (1,241)</p> <p>※助成金要 望額の6割 で積算</p>	<p>旅費交通費 (1,400)</p> <p>諸謝金 (200)</p> <p>※他子ども事業課経費</p>
2	物品販売事業 【共通】 (継続)	<p>NPO 法人やともの会等の協力を得て、やまびこ座、こぐま座で手作りおもちゃ、ハンドパペット、オリジナル商品等の販売を行う。人形劇公演時に販売を行い、公演の集客、活性化を図る。</p>	<p>【令和2年度実績予測】</p> <p>[時期]7～3月</p> <p>[回数]公演時</p>	<p>物品販売 (113)</p>	<p>(0)</p>
			<p>【令和3年度】</p> <p>[時期]通年</p> <p>[回数]公演時</p>	<p>物品販売 (200)</p>	<p>(0)</p>

6. 事業実施計画書（施設運営等事業）

（単位：千円）

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	2021 やまびこ座夏まつり  【やまびこ座】 (継続)	やまびこ座近隣諸団体と連携して実行委員会を組織し、劇場全館を使って地域に向けたお祭りを実施。地域交流、地域貢献を図る。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕新型コロナ感染拡大に伴い中止	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕7月31日、8月1日 〔回数〕1回(2日間)	(0)	(0)
2	読み語りの会  【やまびこ座】 (継続)	毎週水曜日(長期休み・祝日を除く)ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み語りを実施する。劇場と地域、市民との出会い、交流の場をつくる。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕9月～3月 〔回数〕25回	(0)	諸謝金 (50)
			【令和3年度】 〔時期〕通年 〔回数〕40回	(0)	諸謝金 (40)
3	中島児童会館 協働事業「かもくま祭」  【こぐま座】 (継続)	こぐま座と中島児童会館が協働し、地域団体と連携を図り、開館を祝う記念祭を実施する。近隣住民や全市に働きかけを行い、多くの市民が集い楽しむお祭りとする。両施設のPRを図る。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕9月 〔回数〕1回	(0)	※ こども事業 業課経費
			【令和3年度】 〔時期〕7月3日、4日 〔回数〕1回(2日間)	(0)	※ こども事業 業課経費
4	人形劇観劇 スタンプラリー  【共通】 (継続)	観劇者の増加、リピーターの確保を目的に、人形劇公演での観劇スタンプラリーを実施する。ボランティアの協力を得て、指人形等の製作を行い観劇回数に応じてプレゼントを行う。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕7～3月	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期・回数〕通年	(0)	印刷製本費 (70)
5	こどもの劇場通信  【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座両劇場の公演・事業等の紹介を、広く市民にPRを行う。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕年5回発行	(0)	印刷製本費 (500)
			【令和3年度】 〔時期・回数〕年6回発行	(0)	印刷製本費 (600)
6	事業サポーター制度  【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座の事業に協力していただける施設ボランティアを募集し事業の活性化、子ども文化の発展に寄与する。活動協会こども基金「さっぽろスマイルキッズ」の一環。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕通年	(0)	通信運搬費 (30)
			【令和3年度】 〔時期・回数〕通年	(0)	通信運搬費 (30) 消耗品費 (10)

(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
7	市民ボランティア「やまびこ座たのしませ隊」  【やまびこ座】 (継続)	市民サービスの一環として、人形劇公演時において、開演前、終演後にロビーを活用し、読み聞かせや昔遊び等を行うボランティアを配置し、また来たいと思える環境作りを行う。観客数、リピーターの確保や公演の活性化を目指す。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕新型コロナ感染拡大に伴い中止	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期・回数〕通年	(0)	(0)
8	東区市民劇団育成事業  【やまびこ座】 (継続)	東区を拠点に、地域に根ざす児童演劇の集団「オニオン座」の育成を目指す。作品創りをとおして脚本・演出・美術の基礎を学ぶ。 〔対象・定員〕18歳以上(高校生不可)・25名 ※文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕新型コロナ感染拡大に伴い中止	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕6月～10月 〔回数〕全25回	入場料収益 (225) ※受取補助金 プロデュース公演に含む	諸謝金 (250)
9	初心者のための人形劇講座  【共通】 (継続)	札幌の人形劇の新しい担い手の育成を目的とし、劇場公演の活性化につなげていく。やまびこ座、こぐま座それぞれ開講し、最終回には合同で修了記念公演を実施する。 (同時開催:職員向け研修として、人形劇ゼミナールを実施予定) 〔対象・定員〕18歳以上・各10名	【令和2年度実績予測】 〔時期〕4月～7月 〔回数〕全13回 ※職員向け研修として、人形劇ゼミナールに変更	入場料収益 (19)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕4月～7月 〔回数〕全13回	参加料・受講料収益 (80) 入場料収益 (24)	諸謝金 (80)
10	経験者のための人形劇クリニック  【共通】 (継続)	活動中の人形劇団を対象に人形劇講座を開講する。人形劇の質的向上、劇団活動のレベルアップと公演活動の活性化を目指し人形劇を制作する。(「経験者のための人形劇講座」を名称変更) 〔定員〕8劇団 ※やまびこ座:水曜日、昼・夜コース こぐま座:火曜日昼コース 発表公演3月こぐま座で実施予定	【令和2年度実績予測】 〔時期〕8月～3月 〔回数〕25回 ※新型コロナ感染拡大に伴いこぐま座での開催は中止	参加料・受講料収益 (80)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕8月～3月 〔回数〕20回程度	参加料・受講料収益 (160) 入場料収益 (40)	諸謝金 (210)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
11	人形浄瑠璃講習会 【やまびこ座】  (継続)	大人を対象とした人形浄瑠璃講習会。北海道にはなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると同時に、札幌の文化を担う人材を育成することを目的とする。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用い三人遣いの人形操作を学ぶ。 [対象・定員]18歳以上(高校生不可)／12名程度 ※文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業／予定)	【令和2年度実績予測】 〔時期〕8月～1月 〔回数〕17回	参加料・受講料収益 (80)  入場料収益 (68)	旅費交通費 (88)  諸謝金 (420)
			【令和3年度】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕17回	参加料・受講料収益 (90)  入場料収益 (56)  受取補助金 (997)  ※助成金要望額の6割で積算	旅費交通費 (304)  賃借料 (100)  諸謝金 (540)
12	義太夫講習会 (一般クラス) 【やまびこ座】  (継続)	北海道にはなじみの少ない古典芸能に親しむ機会を市民に提供すると同時に、札幌の文化を担う人材を育成することを目的とする。人形浄瑠璃の義太夫(語りと三味線)を学ぶ講習会。 [対象・定員]中学生以上・16名	【令和2年度実績予測】 〔時期〕9月～1月 〔回数〕13回	参加料・受講料収益 (180)  ※入場料及び企画事業収益 人形浄瑠璃講習会に含む	旅費交通費 (160)  諸謝金 (340)
			【令和3年度】 〔時期〕5月～12月 〔回数〕13回	参加料・受講料収益 (146)  入場料及び受取補助金 ※人形浄瑠璃講習会に含む	旅費交通費 (400)  諸謝金 (520)
13	人形浄瑠璃体験ワークショップ  【やまびこ座】  (継続)	近隣小学校へ出向き、人形浄瑠璃の解説や体験をとおして興味関心を引き出す。アウトリーチ活動を通して地域社会へ貢献する。 [対象・定員]小学3～6年生(特別支援学級含む)・延べ140名程度 ※文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業／予定)	【令和2年度実績予測】 〔時期〕7月、10月、12月 〔回数〕 7月中学校WS:3回 10月小学校WS:3回 12月中学校WS:4回	企画事業収益 (190)	諸謝金 (70)
			【令和3年度】 〔時期〕6月～10月 〔回数〕3回程度	受取補助金 (81)  ※助成金要望額の6割で積算	諸謝金 (60)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
14	公演事業 (共催・依頼公演)  【共通】  (継続)	各劇団、団体との共催により、良質な人形劇、児童劇の作品を市民に提供していく。共催名義、宣伝等の協力を行う。併せて他団体からの依頼を受け、アマチュア人形劇団の協力を得ながら、人形劇等の公演、ワークショップ、短期講習会を実施。	【令和2年度実績予測】 〔時期・回数〕通年	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期・回数〕通年	(0)	(0)
15	舞台スタッフ指導事業  【やまびこ座】  (継続)	やまびこ座通常公演時に照明他舞台技術に関心のある初心者を対象に、実践をとおした指導を行うことでより良い作品創りを目指す。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕新型コロナ感染拡大に伴い中止	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕通年	(0)	(0)
16	指導育成事業 砂川人形劇創作体験プログラム  【やまびこ座】  (継続)	砂川市地域交流センターゆう(NPO法人ゆう)の主催事業である「人形劇講座」(小学生、中高生、大人対象)に対して、講師の派遣、指導を行う。劇団育成を目標に、札幌の人形劇団との交流も支援していく。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕6月～3月 〔回数〕全17回	企画事業収益 (500)	旅費交通費 (166) 賃借料 (30) 諸謝金 (30)
			【令和3年度】 〔時期〕通年 〔時期〕5月～3月 〔回数〕全20回	企画事業収益 (500)	旅費交通費 (166) 賃借料 (30) 諸謝金 (30)
17	第29期 やまびこ座遊劇舎  【やまびこ座】  (継続)	小学生を対象に表現活動の楽しさを体験する場とし、豊かな情操をはぐくむ。また、異年齢集団の中で仲間意識をはぐくむ場とする。成果を発表する場として児童劇の公演を行う。 〔対象・定員〕小学3年生～6年生・20名 ※文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和2年度実績予測】 〔時期〕9月～1月 〔回数〕全22回	参加料・受講料収益 (39) 入場料収益 (21)	諸謝金 (220)
			【令和3年度】 〔時期〕5月～12月 〔回数〕全30回	参加料・受講料収益 (100) 入場料収益 (30) 受取補助金 (324) ※助成金要望額の6割で積算	旅費交通費 (9) 諸謝金 (250)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
18	第19期 劇 ☆ やまびこ座 YOUTH 【やまびこ座】  (継続)	中学校から高校生を対象に、表現活動の楽しさを体験するとともに、異年齢集団の中での仲間意識を育む場とする。劇場の次代の表現者を育成することを目指していく。 〔対象・定員〕中高校生・25名 ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和2年度実績予測】 〔時期〕9月～1月 〔回数〕全21回	参加料・受講料収益 (66)	諸謝金 (150)
			【令和3年度】 〔時期〕5月～1月 〔回数〕全35回	参加料・受講料収益 (60) 入場料収益 (30) 受取補助金 (324) ※ 助成金要 望額の6割 で積算	旅費交通費 (9) 諸謝金 (250)
19	ぎ・にんぎょうじょうりょ ークラス 【やまびこ座】  (継続)	小学校6年生から高校生を対象にした人形浄瑠璃講習会。子どもたちの可能性を引き出す場とし、古典芸能の面白さを若い世代に伝え、将来の札幌の文化を担う人材を育成する。やまびこ座所蔵の浄瑠璃人形を用い三人遣いの人形操作を学ぶ。 〔対象・定員〕小学6年生～高校3年生/12名程度	【令和2年度実績予測】 〔時期〕8月～1月 〔回数〕17回	参加料・受講料収益 (21) 入場料収益 (15) 企画事業収益 (400)	(0) ※ 人形浄瑠璃講習会に含む
			【令和3年度】 〔時期〕6月～12月 〔回数〕17回	参加料・受講料収益 (30) 入場料収益 (15) 企画事業収益 (400)	(0) ※ 人形浄瑠璃講習会に含む
20	こぐま座こども人形劇団 【こぐま座】  (継続)	小学生を対象に、人形劇を通したグループ活動を実施する。表現の楽しさ、演じる喜びを体験できる場とし、子どもたちの舞台芸術活動の可能性を引き出すことを目的とし、成果を発表する場として人形劇の公演を行う。 〔対象・定員〕小学3年生～6年生・15名	【令和2年度実績予測】 〔時期〕8月～3月 〔回数〕全34回	参加料・受講料収益 (30) 入場料収益 (9)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕5月～3月 〔回数〕全40回	参加料・受講料収益 (45) 入場料収益 (12) 企画事業収益 (300)	諸謝金 (200)



(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
21	パペットユース スクール 【こぐま座】 (継続)	人形劇を通して子どもたちの可能性を 拡げ、創造性や自主性を養うことを目 的とする。また、表現活動を通じた仲間 づくりなど中高校生の受け入れの場と する。子どもたちが継続した活動を行え るよう支援し、将来の人形劇文化の担 い手を育成する。[対象・定員]中高校 生・15名	【令和2年度実績予測】 〔時期〕8月～12月 〔回数〕全30回	参加料・受講料収益 (42) 入場料収益 (11) 企画事業収益 (400)	諸謝金 (50)
			【令和3年度】 〔時期〕6月～1月 〔回数〕全30回程度	参加料・受講料収益 (45) 入場料収益 (15) 企画事業収益 (400)	諸謝金 (200)
22	劇団育成支援事業 【共通】 (継続)	やまびこ座・こぐま座で劇団・人形劇 団の育成支援事業を実施する。利用 料金の一部負担を行うことで、劇団活 動の活性化に結びつける。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕通年	参加料収益 (40)	(2,300) ※ 内部取引
			【令和3年度】 〔時期〕通年	参加料収益 (150)	(3,000) ※ 内部取引
23	こども舞台体験プログラ ム「ふれアート」 【やまびこ座】 (継続)	人形浄瑠璃に関するさまざまな舞台体 験を通して、豊かな体験の機会を提供 し、子どもたちの新たな可能性を発見 できる場とする。さっぽろ人形浄瑠璃あ しり座との共催事業。 [対象・定員]小学校3年生～高校生・ 各回30名	【令和2年度実績予測】 〔時期〕10月、12月 〔回数〕3プログラム (計5日)	(0)	旅費交通費 (347) ※ その他こども 事業課経費
			【令和3年度】 〔時期〕6月～1月 〔回数〕3プログラム (計6日)	(0) ※ すべて共催者 経費	(0) ※ すべて共催者 経費
24	やまびこ座 プロデュース公演 【共通】 (継続)	専門アーティストを起用し、よりレベル の高い作品創造を目指す。やまびこ 座で育成している子どもから大人まで がスタッフと協働して作品を創造して いく。 [対象・定員]18歳以上・25名 ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機 能強化推進事業/予定)	【令和2年度実績】 〔時期〕11月～1月 〔回数〕全13回	(0)	諸謝金 (300)
			【令和3年度】 〔時期〕11月～3月 〔回数〕全31回	参加料・受講料収益 (125) 入場料収益 (534) 受取助成金 (2,256) ※ 助成金要 望額の6割	印刷製本費 (100) 広告宣伝費 (200) 諸謝金 (2,160)

(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
25	やまびこ座・こぐま座 野外人形劇シリーズ  <b>【共通】</b> (新規) (レベルアップ)	一年をとおして北海道の豊かな自然環境を生かし、札幌ならではの野外人形劇場を実施する。コロナ禍においての密を避けるなど野外劇場の効果を生かすことで、継続的な文化発信を目指す。 ◎ こぐま座 45 周年「サイトスペシフィック・パフォーマンス」(新規) ◎ 冬の野外巨大人形劇「マルシュカと12の月」(レベルアップ) ◎ おそとで人形劇場～あおぞらキッズシアター&ほしぞらキッズシアター(レベルアップ) ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	<b>【令和2年度実績予測】</b> [時期]2月 [回数]2日間  <b>【令和3年度】</b> [時期] ◎ 9月 ◎ 2月 ◎ 5月～9月 [回数] ◎ 2回(2日間) ◎ 6回(3日間) ◎ 18回	企画事業収益 (3,850)  入場料収益 (630) 受取補助金 (4,533) ※ 助成金要望額の6割 で積算	賃借料(450) 諸謝金(500) 消耗品費 (375) 委託費 (1,495) 燃料費(80) ※ その他こども事業経費  旅費交通費 (420) 消耗品費 (193) 印刷製本費 (75) 賃借料(500) 諸謝金 (4,910) 委託費 (1,900) 役務費(100) 燃料費(30) ※ その他こども事業経費
26	第50回記念 札幌人形劇祭  <b>【やまびこ座】</b> (レベルアップ)	経験豊富な審査員から客観的な意見を聞く場として人形劇のコンクールを実施する。期間中にワークショップも実施し、観劇のほか実際に人形劇を体験することで人形劇に対する興味関心を引き出す。 大人部門(◎ 一般◎ 初心者)、こども部門(◎ 小学生◎ 中高校生) ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	<b>【令和2年度実績予測】</b> [時期]11月・1月 [回数]1回2日間  <b>【令和3年度】</b> [時期] 本祭11月、表彰式及び受賞記念公演1月 [回数] 本祭1回(3日間)、表彰式及び受賞記念公演1回	参加料・受講料収益 (20) 入場料収益 (30)  参加料・受講料収益 (55) 入場料収益 (257) 受取助成金 (1,099) ※ 助成金要望額の6割 で積算	諸謝金 (250)  旅費交通費 (160) 諸謝金 (540)

(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
27	《こぐま座 45 周年記念》 札幌国際人形劇フェスティバル  【共通】 (新規) (レベルアップ)	こぐま座 45 周年を記念し、海外・道内外の専門劇団を招へいし、公演及びワークショップを開催する。市民に向け質の高い文化を発信、子どもたちに豊かな観劇の機会を提供する。 ① 海外特別公演(レベルアップ) ② 夏の特別公演(フェスティバル)(新規) ③ 秋の特別公演(レベルアップ) ④ 春の特別公演(レベルアップ) ⑤ 児童会館巡回公演(レベルアップ) ⑥ 人形劇ワークショップ(レベルアップ) ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和 2 年度実績予測】 〔時期〕7 月～3 月 〔回数〕全 68 回	入場料 (550)	諸謝金 (1,050) ※ その他こども 事業課経費
			【令和 3 年度】 〔時期〕7 月～3 月 〔回数〕全 30 回程度	入場料 (1,711) 受取補助金 (2,392)	旅費交通費 (968) 賃借料(200) 印刷製本費 (1,100) 諸謝金 (4,960) ※ その他こども 事業課経費
28	伝統芸能 『座・競演シリーズ』  【やまびこ座】 (新規)	日本各地の様々な劇団や多彩なジャンルによる伝統芸能の競演を行うことで、普段なかなか観劇することのできない日本の古典芸能の魅力を伝える。この企画により新たな利用者層の獲得につなげ、現在劇場で取り組んでいる「札幌人形浄瑠璃」を広く市民に伝える機会とする。伝統芸能の公演およびワークショップを実施する。 [対象・定員] 各公演:小学生～大人・100 名 ワークショップ:小 3～高校生・30 名 ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和 2 年度実績予測】		
			【令和 3 年度】 〔時期〕10 月 〔回数〕公演 2 回 ワークショップ 1 回	入場料収益 (500) 受取助成金 (1,187) ※ 助成金要 望額の 6 割 で積算	旅費交通費 (1,008) 諸謝金 (1,525) 賃借料 (30) 印本費 (250) 通信運搬費 (90)
29	元町北小学校 アウトリーチ事業  【やまびこ座】 (継続)	周辺地域の小学校と連携を図ることを目的に、やまびこ座の持つ専門性やノウハウを活かし、元町北小学校の 3 年生に人形劇、5 年生に演劇を指導する。アウトリーチ活動を通して地域社会へ貢献する。 [対象・定員]小学 3 年生・90 名/5 年生・90 名 ※ 文化庁助成金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業/予定)	【令和 2 年度実績予測】 〔時期〕7～9 月 〔回数〕6 回 ※ 演劇は、新型コロナ感染拡大に伴い中止	(0)	(0)
			【令和 3 年度】 〔時期〕6～10 月 〔回数〕人形劇、演劇 各 5 回程度	受取補助金 (163) ※ 助成金要 望額の 6 割 で積算	諸謝金 (50)

(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
30	やまびこ座・こぐま座 LINE通信 【共通】 (レベルアップ)	LINE公式アカウントを開設し、観劇者、事業参加者の増加を目指し、公演情報や講座案内を配信する。気軽な情報ツールとして、より身近で訪れやすい劇場を目指す。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕通年	(0)	(0)
			【令和3年度】 〔時期〕通年	(0)	(0)
31	さっぽろアートステージ (シアターゴラウンド2021) 【共通】 (継続)	札幌劇場連絡会(市内の10劇場)が主催となり、各劇場が連携して11月、12月に企画公演を実施する。	【令和2年度実績予測】 〔時期〕11月～12月 〔回数〕1回	受取補助金 (90)	支払負担金 (24)
			【令和3年度】 〔時期〕11月～12月 〔回数〕1回	受取補助金 (90)	支払負担金 (24)
32	こども若者事業部連携 事業(こども劇場課・こども事業課・こども育成課) 【共通】 (継続)	劇場の専門性を活かし、各児童会館の人形劇クラブなどの指導や育成に協力して取り組むことで、子どもたちの新たな可能性を引き出し、児童会館職員の新たなスキルの構築にもつなげていく。こども若者事業部との連携により、互いに理解を深め、より広がりを持った事業展開を行えるよう協力体制を築いていく。 ◎ 人形劇クラブの指導および育成 ◎ 被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」への現地スタッフ協力 ◎ 応援☆ 児童会館～おでかけ人形劇	【令和2年度実績予測】 〔時期〕通年	(2,500) ※ 内部取引	(0) ※ こども事業課経費
			【令和3年度】 〔時期・回数〕 ◎ 5月～3月:随時 ◎ 9月～3月:随時 ◎ 11月～12月:20回	(2,500) ※ 内部取引	諸謝金 (100) ※ その他こども事業課経費

(単位:千円)

№	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
33	中島児童会館一体連携事業  【こぐま座】  (継続)	歴史的価値の高い中島児童会館とこぐま座が連携し、あらためて札幌にとっての子ども健全育成を図るための総合中心拠点として、全市的な市民PRを含め、広域的、先駆的な事業展開と人材育成を中心とした取り組みを行う。 ◎「こどものまなび塾」 児童文化に関わる外部講師を招へいし、子どもたちに関わる人材の育成を図る。将来的には修了者を児童会館でのボランティアスタッフにつなげていくことを目標とする。 [対象・定員]18歳以上・30名 ◎「こども文化セミナー」 子どもの健全育成に関わる課題や子ども文化をテーマに外部講師による講演会やシンポジウムを実施する。[対象・定員]18歳以上・40名 ◎「中島児童会館・こぐま座資料室企画展示」 資料室を活用した企画展示、657美術館、イベント等を実施する。 ◎おはなしの会 ボランティアによる絵本・紙芝居などの読み聞かせを実施する。 ◎MA・SO・BO通信 MA・SO・BOの周知を図るほか、札幌の子ども文化を考える情報、資料を発信する。子どもの文化発信基地として役割をはたす。	<b>【令和2年度実績予測】</b> ◎こどものまなび塾 [時期]9月～2月 [回数]全18回 ◎こどもの文化セミナー [時期]7月～12月 [回数]全3回 ◎資料室企画展示 [時期]9月～3月 [回数]2回	(0) ※こども事業 課経費	(0) ※こども事業 課経費
		<b>【令和3年度】</b> ◎ [時期]第1期:6月、第2期:9月、第3期:12月 [回数]全3期 ◎ [時期]6月～12月 [回数]全3回 ◎ [時期]通年 [回数]全10回 ◎ [時期]通年 [回数]全24回 ◎ [時期]通年 [回数]年6回発行	(0) ※こども事業 課経費	(0) ※こども事業 課経費	

様式1 令和3年度札幌市こどもの劇場収支計画書(総括表)

単位:千円

1 収益

項目	予算額	摘要
指定管理費	46,053	
利用料金収入	4,500	
こども劇場事業収益(指定管理業務)	18,580	企画事業収益、参加料・受講料収益、入場料収益ほか
物品販売収益(自主事業)	125	物品販売事業
飲料販売収入(自主事業)	60	
収益計(A)	69,318	

2 費用

大項目	中項目	小項目	予算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	0	
		物件費	1,487	財団本部経費
		小計	1,487	
	事業費	人件費	24,840	給料手当、福利厚生費等
		物件費	42,611	印刷製本費、諸謝金、委託費、支援事業費等
		小計	67,451	
指定管理業務計		68,938		
自主事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費	0	
		物件費	182	
		小計	182	
自主事業計		182		
受託事業	管理費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
	事業費	人件費	0	
		物件費	0	
		小計	0	
受託事業計		0		
費用計(B)			69,120	

3 収支

項目	金額	備考
当期利益(A-B)	198	
自主事業による利益還元(C)	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	0	
当期純利益(A-B-C-D)	198	

注)

1 施設において自主事業として実施する、札幌市その他の機関や団体からの受託事業の実施を予定している場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)

2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。

3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。

4 収支の表の法人税等欄については、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和3年度札幌市こどもの劇場収支計画書(収益)

1.利用料金収入

単位:円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	予算額	備考
ホール	午前	13,000	10	130,000	
	午後	19,000	10	190,000	
	夜間	20,700	10	207,000	
	全日	50,500	40	2,020,000	
	計		70	2,547,000	
会議室	午前	1,100	15	16,500	
	午後	1,600	15	24,000	
	夜間	1,800	15	27,000	
	全日	4,300	10	43,000	
	計		55	110,500	
研修室	午前	2,200	25	55,000	
	午後	3,200	25	80,000	
	夜間	3,500	25	87,500	
	全日	8,600	20	172,000	
	計		95	394,500	
美術 工作室	午前	2,500	30	75,000	
	午後	3,700	30	111,000	
	夜間	4,000	30	120,000	
	全日	9,700	35	339,500	
	計		125	645,500	
公演時使 用料収入	人形劇		50	375,000	人形劇公演50回
	児童劇		10	427,500	児童劇公演10回
	計			802,500	
総計				4,500,000	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。  
2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収益、自主事業収益、受託事業収益

単位:千円

項目	事業名	予算額	摘要
指定管理業務	企画事業収益	2,000	人形劇クラブ、砂川人形劇指導料
	参加料・受講料収益	606	事業参加料及び受講料(東区市民劇団、遊劇舎、ほか)
	入場料収益	3,065	国際人形劇フェスティバル、プロデュース公演 ほか
	雑収益	72	コピー、印刷代等
	受取補助金	90	さっぽろアートステージ
	受取助成金	12,747	文化庁
	指定管理業務事業収益計	18,580	
自主事業	物品販売収益	125	物品販売事業
	飲料販売収益	60	飲料販売事業
	自主事業収益計	185	
受託事業			
	受託事業収益計	0	
事業収益計		18,765	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。  
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。  
 3 税込で記載してください。  
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受ける予定がある場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。  
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名(予定)を記載してください。



様式3 令和3年度札幌市こどもの劇場収支計画書(費用)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	0	20,977	0	0	0	0
	臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
	福利厚生費	0	3,863	0	0	0	0
	法定福利費	0	0	0	0	0	0
	財団本部経費	0	0	0	0	0	0
	人件費計	0	24,840	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費	0	2,784	0	0	0	0
	通信運搬費	0	690	0	0	0	0
	減価償却費	0	170	0	0	0	0
	消耗品費	0	410	0	120	0	0
	修繕費	0	200	0	0	0	0
	印刷製本費	0	1,920	0	0	0	0
	燃料費	0	230	0	0	0	0
	光熱水費	0	6,373	0	27	0	0
	賃借料	0	1,510	0	35	0	0
	保険料	0	60	0	0	0	0
	諸謝金	0	11,555	0	0	0	0
	租税公課	0	3,527	0	0	0	0
	支払負担金	0	234	0	0	0	0
	委託費	0	7,393	0	0	0	0
	交際費	0	0	0	0	0	0
	役務費	0	1,805	0	0	0	0
	備品費	0	350	0	0	0	0
	広告宣伝費	0	400	0	0	0	0
	会議費	0	0	0	0	0	0
	支援事業費	0	3,000	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0
	支払手数料	0	0	0	0	0	0
	行政財産の目的 外使用料	0	0	0	0	0	0
財団本部経費	1,487	0	0	0	0	0	
物件費計	1,487	42,611	0	182	0	0	
費用計	1,487	67,451	0	182	0	0	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。  
  - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
  - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。



## 様式5 令和3年度札幌市こどもの劇場収支計画書(費用)の内訳(物件費)

単位:千円

## 1 指定管理業務

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	2,784	外勤旅費、出張旅費、事業旅費
通信運搬費	0	690	NTT、リーフレット通信発送
減価償却費	0	170	受付システム等
消耗品費	0	410	事務用品、管理用品、舞台消耗品、事業材料費
修繕費	0	200	施設、備品軽修繕
印刷製本費	0	1,920	劇場通信、事業チラシ・ポスター印刷
燃料費	0	230	公用車燃料、除雪機・刈払機燃料
光熱水費	0	6,373	上下水道、電気、ガス代
賃借料	0	1,510	コピー機、タクシー、事業宿泊費、レンタカー借上等
保険料	0	60	施設賠償保険等
諸謝金	0	11,555	事業講師謝礼
租税公課	0	3,527	消費税、収入印紙代
支払負担金	0	234	劇場連絡会会費、研修参加料
委託費	0	7,393	施設管理委託業務
交際費	0	0	
役務費	0	1,805	じん芥処理、ソフトライセンス料等
備品費	0	350	館内備品
広告宣伝費	0	400	ホームページ保守等
会議費	0	0	
支援事業費	0	3,000	劇団育成支援事業
雑費	0	0	
支払手数料	0	0	
財団本部経費	1,487	0	財団運営経費(管理費支出)、通信環境整備費用、財務システム等維持管理費用 等
計	1,487	42,611	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

## 2 自主事業

科目	予算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	0	
通信運搬費	0	0	
減価償却費	0	0	
消耗品費	0	120	物品販売消耗品
修繕費	0	0	
印刷製本費	0	0	
燃料費	0	0	
光熱水費	0	27	飲料販売加算料(電気代)
賃借料	0	35	飲料販売使用料
保険料	0	0	
諸謝金	0	0	
租税公課	0	0	
支払負担金	0	0	
委託費	0	0	
交際費	0	0	
役務費	0	0	
備品費	0	0	
広告宣伝費	0	0	
会議費	0	0	
支援事業費	0	0	
雑費	0	0	
支払手数料	0	0	
行政財産の目的外 使用料	0	0	
計	0	182	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の予算の積算内訳を記載してください。

札幌市長  
秋 元 克 広 様

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協  
理 事 長 野 崎 清 史

令和 3 年度 札幌市こどもの劇場管理業務における自主事業計画(案)の承認について

時下、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当協会の活動並びに取り組みに対する深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、標記施設の指定管理に関する協定書は既に締結済みであります。下記のとおり、協定第 33 条に基づき、自主事業計画(案)を策定いたしましたので、ご承認くださるようお願いいたします。

### 記

- 1 名 称 (1) 物品販売事業  
(2) 飲料販売事業
- 2 目 的 (1) 物品販売事業  
市民サービスの一環として、ハンドパペットやオリジナルグッズ等の販売を各公演時に行うことで、集客の一助やリピーターの確保等につなげ、公演の活性化を図ることを目的とする。  
(2) 飲料販売事業  
劇場に公演観劇に来られる来館者や、稽古や舞台仕込みで利用される劇団利用者等に対して飲料の清涼飲料水の販売を行い、市民サービスの向上を図ることを目的とする。
- 3 内 容 (1) 物品販売事業  
①収入見込額 125,000円  
②販売方法 専用カウンター設置による対面販売  
③品 目 ハンドパペット、バッジ、ポストカード、ストラップ等のオリジナルグッズ  
④単 価 市価相当の 50 円～900 円を予定  
(2) 飲料販売事業  
①収入見込額 60,000円  
②販売方法 自動販売機設置による販売  
③品 目 ペットボトル・缶・紙パック形態の清涼飲料水  
④単 価 市価相当の 90～160 円を予定
- 4 実施期間 令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 3 1 日
- 5 その他 (1) 自主事業は指定管理業務に支障の無い範囲で行い、事業ごとに区分して経理します。  
(2) 自主事業収入については、劇場事業費の一部に充当することとし、市民に還元します。  
(3) 自主事業の内容等については、札幌市と適宜協議を行い実施して参ります。



以上